

南部公園事務所の移転について

南部公園事務所については、建設から25年以上経過し、設備の劣化や雨漏りが発生するなど老朽化が著しいことから、みどりと公園課では施設の改築について検討してきたところである。

今般、同公園事務所の移転場所として、板橋公園（交通公園）に決定したので報告する。

記

1 検討経過について

公園事務所の移転場所の選定にあたっては、①移転先の公園の大規模改修計画に合せた移転が望ましいこと、及び②建ぺい率の制限や、資材置き場、駐車スペース等を確保する必要から、一定規模以上の面積を有する公園であることが条件となる。

現在、南部公園事務所は東板橋公園内に設置されており、同公園ではこども動物園や庭球場の大規模改修計画があることから、当初これらの施設の改修時期に合せ、同公園内での改築を予定していたところである。

その後、板橋公園に隣接する旧大山小学校の跡地活用方法について、当該跡地の区有地と公園を一体的に全面改修整備することが平成28年4月に決定された。このため、同公園の面積が大きく拡張されることになり、東板橋公園及び板橋公園の両公園を候補地として、再度移転先の検討を行うこととなった。

2 検討結果について

南部公園事務所の設置（移転）候補地として双方の公園を下記のとおり比較検討を行った。

① 周辺の道路環境

板橋公園では旧大山小学校周辺道路を幅員 6 m へ拡幅する計画があり、東板橋公園の周辺道路環境に比べると優位性がある。

また、公園事務所は、事務所車両や作業用ダンプが一日に何度も往復することがあるため、周辺居住者に対する安心・安全性の向上を図る上で周辺道路環境が良好な板橋公園への移転が望ましい。

② 両公園の改修計画に与えるメリット

板橋公園周辺は災害時の避難場所として指定されているため、南部公園事務所を同公園に移転させることは、災害発生時には区職員の常駐体制が可能になり緊急対応等の面において、同公園の改修目的に資するものである。

一方、東板橋公園において改修整備を予定しているこども動物園は、年間39万人もの来園者があり、南部公園事務所が移転することによって、動物園エリアの拡張整備を計画することが可能となる。

これらのことから、同公園事務所を板橋公園に移転することは、双方の公園改修計画にとってメリットがあるものとなる。

以上の検討結果を踏まえ、南部公園事務所を現在の東板橋公園から板橋公園に移転することとした。

3 今後の移転計画について

移転の時期については、東板橋公園（こども動物園、庭球場等）の改修工事が平成29年度から予定されているため、暫定的に旧板橋第四中学校の校舎建物内に移転し、最終的には板橋公園改修工事終了後、同公園内への移転を行うものとする。

平成29年度 旧板橋第四中学校内に暫定移転

平成32年度 板橋公園改修工事完了後に移転